



# 丸善出版 MeL分野別カタログ

放射線・原子力



2018年  
新刊

書名	著編者	発行年	冊子版ISBN	同時 1アクセス (本体)	同時 3アクセス (本体)	商品コード
福島除染と復興	川崎 興太 著	2018年	9784621303214	¥23,100	¥34,650	1028506665
著者は、未曾有の原子力災害に対して復興の形づくりを急ぐのではなく、長期にわたって被災者の生活再建と被災地の再生に向けた課題を把握し、確かな復興政策を確立・充実することを主張する。震災・原発事故に関する多数の資料から、とくに除染と復興に焦点をあて、これまでの政策の変遷を整理するとともに、著者自身のフィールドワークによる現地調査や被災地の住民意識調査等をまとめた一冊。						
原子力・量子・核融合事典 <全6巻>	原子力・量子・核融合 事典編集委員会編	2014年	9784621088746	¥495,000	¥742,500	1019023645
核科学、原子力工学、量子ビーム、核融合に関する基礎知識から最先端の技術まで網羅的に取り上げて解説した事典。全項目見開き2ページで解説。分売不可。						
原子力災害に学ぶ放射線の健康影響とその対策	長瀧重信 著	2012年	9784621085028	¥5,500	¥8,250	1010548440
放射線の人体への健康影響は、実験室での研究だけでは解明できません。人体に関する知見をより正確に得るためには、被曝事例の分析が必須となります。本書「原子力災害に学ぶ放射線の健康影響とその対策」では、内科の医師として原爆被爆者やチェルノブイリ原発事故の調査に長年携わってきた著者が、直接見聞きした情報と科学的知見をもとに、「放射線の健康影響とはどのようなものか」、「原子力災害による健康影響にどう対応すべきか」を具体的に解説しています。放射線の健康影響を科学的に理解し、さらにその先を見通す指針となる一冊です。						
原子力発電所の事故・トラブル —分析と教訓—	二見常夫 著	2012年	9784621085578	¥6,160	¥9,240	1011492080
原子力発電所で起きる様々な事故・トラブルの原因・要因を、福島第一原発事故の詳細な分析を初め、JCO、もんじゅ、美浜、柏崎刈羽、敦賀、女川などの実例をもとに解説しています。特に、今回の福島第一原子力発電所の事故の概要については、多くのページを割いて事実に基づいてわかりやすく解説しており、この事故の全貌を知ることができます。元福島第一原子力発電所所長の著者が、原子力発電所事故が繰り返して起こることのないよう、過去の事故の全容と、事故から得られる教訓を次世代に伝えるべく、全身全霊を傾注して書き下ろしたものであります。						
放射性核種の海洋拡散予測解析	和田 明 著	2012年	9784621085882	¥9,240	¥13,860	1011601616
東京電力福島第一原子力発電所の事故により、海洋における放射能の影響把握の必要性が高まり、現時点における評価方式について、基本的考え方の整理が必要となっています。本書「放射性核種の海洋拡散予測解析」は、放射性核種の海洋拡散問題について、観測結果との比較に基づいた流動・拡散モデルの構築と解析手法を解説したものです。著者はIAEA等の国際原子力機関での調査研究や原子力発電所海域の流動解析に実績があり、本書ではこれらで開発された各種のモデルを解説、実際の適用例を紹介しています。さらに2011年3月11日の福島第一原子力発電所の事故に関してもモニタリング結果をベースに海水/海底の放射能濃度の経年変化を計算し、今後の環境影響について考察しています。						

・表示価格は税抜きです。

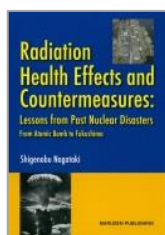
・タイトル末尾の(※)はダウンロードが出来ません。

2019年2月

Maruzen eBook Library は、学術・研究機関のための学術情報に特化した電子書籍をご提供する丸善雄松堂オリジナルのプラットフォームです

# 丸善出版 MeL分野別カタログ

放射線・原子力



書名	著編者	発行年	冊子版ISBN	同時 1アクセス (本体)	同時 3アクセス (本体)	商品コード
放射線とつきあう時代を生きる —あつてはならない、なくてはならない放射線—	岩崎民子著	2013年	9784621086049	¥3,960	¥5,940	1013312290
<p>3.11東北大震災に伴う福島原発事故をきっかけに、放射線や放射性物質についての人びとの関心はいやが上にも高まっています。このような背景を受け放射線・放射能について急遽書かれた本が巷間にあふれ、さらに、インターネットなどには事故による環境汚染や放射線の健康への影響について、玉石混淆の断片的な様々な情報が飛び交っています。本書「放射線とつきあう時代を生きる」は、放射線の科学的基礎知識を一般の読者に正しく伝えることを目的に、医学的治療、モノづくりや農業への利用、放射線の基本知識、そして原子力エネルギーの利用に伴う事故と、その対処方法、事故時における放射線防護までをわかりやすく解説します。</p>						
福島第一原子力発電所事故その全貌と明日に向けた提言 —学会事故調最終報告書—	一般社団法人 日本原子力学会 東京電力福島第一原子力発電所事故に関する調査委員会 著	2014年	9784621087435	¥8,250	¥12,375	1016124042
<p>原子力分野の専門家の集団として日本原子力学会は、福島第一発電所の原子力災害に対する責任を痛感し、その責務を果たす活動の一環として、「東京電力福島第一原子力発電所事故に関する調査委員会」(学会事故調)を発足させました。本書は、その審議結果を最終報告書として取りまとめたもので、福島事故の技術的解説(どのようにして事故が起こったか)、事故の背景の解説(国内の法律・制度、国際基準に照らして安全対策、安全文化はどうであったか)、事故後の対策、今後についての提言など、まんべんなくしかもコンパクトかつ明解に解説した渾身の一冊です。</p>						
Radiation health effects and countermeasures : lesson from past nuclear disasters : from atomic bomb to Fukushima	Shigenobu Nagataki著	2014年	9784621088388	¥26,400	¥39,600	1016124040
<p>放射線は、人体にどのような影響を与えるのか?その答えは、過去の災害事例から得られる疫学データからしか得ることができない。広島・長崎の被爆者の長期健康調査から、チェルノブイリ、JCO臨界事故、そして福島まで、実際に多数の事例と向き合い、患者を治療し、調査研究を進めてきた著者が、放射線影響を科学的にまとめた。2012年刊行『原子力災害に学ぶ 放射線の健康影響とその対策』に、福島第一原発事故の経過を加筆し英訳して刊行。The impact of radiation on human cannot be assessed solely on the basis of animal experiments and in vitro studies. The only way to truly understand what happens to the human body after exposure to varying doses of radiation is to examine our past experience. This book includes many scientific data about atomic bomb victims' health effect, Chernobyl accident and Fukushima Daiichi nuclear disaster. It is suitable for understanding lowdose radiation health effects and its countermeasures.</p>						
放射線 —科学が開けたパンドラの箱— (サイエンス・パレット 018) (※)	Claudio Tuniz著 酒井一夫訳	2014年	9784621088432	¥3,300	¥4,950	1018194146
<p>この地球は放射線に満ちています。今この瞬間にも、放射線はあなたの体を通り抜けています。もちろんごく微量ですので、心配するには及びません。ただ、放射線が存在が認識されたのは19世紀末になってから。それから100年あまりの間に、人間はその力を用いて巨大なエネルギーを手に入れたり、食品の安全性を高めたり、太古の歴史を知ることができるようになりました。一方、放射線はキュリー夫人の体を蝕み、広島・長崎で多数の人を死に追いやり、チェルノブイリや福島の住民の生活に暗い影を落としました。本書では、そんな放射線と人間との関わりをコンパクトにご紹介します。放射線は私たちにどのような恩恵とリスクをもたらしたのか、その全体像がわかる一冊です。</p>						
大学講義 放射線医学 原子・分子から被曝・がん	矢野一行・森口武史・廣澤成美・坂本 安著	2014年	9784621088722	¥7,260	¥10,890	1026478764
<p>本書は、放射線と直接関わる機会が多い医療系の学生および環境系の学生が読者対象です。放射線を理解するための知識、核燃料、核分裂反応、放射性廃棄物、各種放射線に触れ、放射線被曝によるヒトへの影響を評価し、低線量放射線の作用の本質について述べています。</p>						

・表示価格は税抜きです。  
・タイトル末尾の(※)はダウンロードが出来ません。

2019年2月